

読書のススメ

子どものころは本を読んでいたけれども、大人になるにつれ仕事や家事に追われて読む時間がない、まったく読まなくなつたと感じる人も多いと思います。読書には本の世界に入るのはもちろんのこと、脳の働きをよくしたり、文章力アップなどメリットが多くあります。この特集を通して本を手に取るきっかけにしてください。



本は知の宝庫です。現在はインターネットが普及し瞬時に情報を手に入れることができます。ただ眺めでいい便利ですが、ただ眺めるだけでは身に付きません。本を取り、文字を一つ一つ追いかけることで集中力が高まり、いろんな知識にふれることで、想像力や感受性が豊かに育まれます。市民図書館にはいろんな分野の本があります。本の中でしか知ることができない世界が無数に広がっています。ぜひ、読書をお勧めします。

無数に広がる知らない世界

私は1冊
佐賀学ブックレット3
『有明干拓社会の形成
—入植者たちの戦後史—』



鬼嶋淳・藤永豪／著
佐賀大学地域学歴史
文化研究センター



小城市民図書館 館長 古庄秀樹

江戸時代から第二次大戦までの干拓の歴史にふれ、入植者の体験談や聞き取りから干拓地における暮らしぶりが鮮明に浮かび上がります。入植者の歴史が見事に復元された貴重な一冊です。



魅力

読書で脳が活性化



読書は、人が仕事や学業を進める際に求められる行為であることは言うまでもありません。しかし、日常生活で老若男女を問わず個々人の好奇心を満たし、更なる好奇心を搔き立てるのも読書の大きな効用のひとつではないでしょうか。

かつて作家の村上龍が、

「満ち足りた人生の出発点は、好奇心にある」と何処かで述べていたのを思い出しました。最近の脳科学の進歩によつて、読書中の脳では想定以上に広い範囲で脳の血流が有意に増加することが分かっています。

川島隆太先生（東北大学）は、黙読よりも音読することによって、血流の増加する部位が左右の大脳半球表面でより広範になることを指摘しています。このように読書は、脳（神経細胞）を活性化させることの大変役に立つ営みのひとつであることは事実です。

小城市病院事業管理者 田渕和雄（脳神経外科医）

私の1冊

『キュリー夫人伝』

エーヴ・キュリー／著
河野万里子／訳 白水社

さあざまな逆境にありながらも、強い信念と努力で2度のノーベル賞受賞に輝いた波乱の生涯を、娘である著者がつづった伝記です。特に小・中学生に一読をお勧めします。

▼幼い頃から絵日記を楽しんで書いていました。



本を読むときは頭を空っぽにして、本の世界観に集中し、想像を膨らませながら、じっくり本の世界観を楽しんでいます。

本は言葉の表現の幅を広げてくれます。読書をとおして、新しい表現や、幅広い知識を得る

本が大好きで、時間を見つけては読書をしていました。

小・中学生の頃は学校の図書室や市民図書館へ通い詰めて本を借りていました。

本を読むときは頭を空っぽにして、本の世界観に集中し、想像を膨らませながら、じっくり本の世界観を楽しんでいます。

幼少期から誕生日プレゼントの図鑑を愛読し、1日で7冊読んだこともあるほど、読書好きな田中結さん。税の作文で国税庁長官賞や知覧スピーチコンテストで最優秀賞を受賞するなど、文才も光る田中さんにお話を伺いました。

私が文章力を身につけることができました。

また、自分の知らなかつた世界に触れ、他人の人生に入つたような気分を味わうことができ、自分自身を見つめ直すきっかけにもなります。

私にとって文章を書くのは自己表現の手段。自由な言葉で自分の気持ちや考えを表現できるのは楽しいです。

魅力

文章力が身に付く



私の1冊

『黒魔女さんが通る!!』

シリーズ

石崎洋司／著 講談社

小学3年生で出会い、今も新刊を楽しみにしています。ストーリーの構成が面白く、小説が好きになるきっかけとなつた本です。大人でも楽しめると思います。

小城町／佐賀西高校1年 田中 結さん

世界の歴史（4）

平勢隆郎／監修 集英社

子どもの頃から歴史が好きで、日本史から世界史まで一通り読みました。最近は小さい文字が読みにくくなつたので、大きい文字の本を読んでいます。

にし
西 英文さん（小城町）



もっと読書が楽しくなる、本を読むための前準備～本のあれこれ～

本の種類

- 本にもいろいろな大きさがあります。
- 文庫本 (105×148mm)
 - 新書判 (105×173mm)
 - 単行本 (A5判、B6判など)

雑誌
(A4判、B5判など)

本の分類

図書館では、たくさんの資料を整理して棚に並べ、探しやすくするため、本のテーマや書かれた内容によって、0～9の10の分類に分けています。これはどの図書館に行つても同じ方法がとられています。

第1区分（テーマ別）

- 0 総記
- 1 哲学
- 2 歴史
- 3 社会科学
- 4 自然科学
- 5 技術
- 6 産業
- 7 芸術
- 8 言語
- 9 文学

【例】谷川俊太郎詩集

911.56

文学

日本文学

詩歌

詩

個人詩集

第2区分、第3区分

第2区分では第1区分で選んだ内容の詳細の分類、第3区分では第2区分で選んだ内容の詳細を記します。

3桁になったものが基本的な分類記号ですが、このように、小数点をつけて更に細かく分類することもできます。

例えば、谷川俊太郎さんの詩集『谷川俊太郎詩集』は、911で詩歌を表しますが、範囲が広いので、小数点以下で「詩」か「歌」のどちらなのか表します。このように資料に分類記号をつけて棚に並べていきます。各資料の分類は、背表紙の下の方に貼っているシールに表示されています。

人生、90歳からおもしろい！

やなせたかし／著 フレーベル館

90歳からがおもしろい！と言えるやなせさんの考え方や生きざまに惹かれた作品です。人生を謡歌している93歳の地域貢献しようとしている姿が魅力的です。

あいうら
相浦 實さん（三日月町）



図書館で聞いた 私の思い出の1冊

簡単に暮らし

ちゃくま／著 大和書房

普段の家事や暮らしを楽にする知恵がたくさん詰まった本です。実際の生活でとても役に立ちます。

すきまち
杉町 有美さん（三日月町）



本の起源



～本は紙がないと作れない！？～

世界各地には文明や地域毎に独自の文字があり、記録が“何か”に書きとめられていました。紙が発明される前から独自の材料で本が存在したのです。

紀元前5,000年前、エジプトではバビルスという草のくき、メソポタミアでは粘土板に書き記していました。

西洋では羊やヤギの皮から作った羊皮紙、アジア（インド、スリランカ、タイ）では木の葉、中国では、「木簡」「竹簡」と呼ばれる木や竹の「ふだ」を使用していました。

1世紀ごろに中国の蔡倫が以前からあった紙の作り方を改良・発展させました。それは中国との交流があった日本にも伝わり、日本では、7世紀ごろから製紙が盛んになり、日本独自の「和紙」が誕生しました。その後西洋との貿易の中で技術を取り入れ「洋紙」が始まり、現在に至ります。

（参考）『本のれきし5000年』 辻村益朗／作 福音館書店

歳月

司馬遼太郎／著 講談社

司馬遼太郎の作品が好きで、特にこの作品は繰り返し読みました。佐賀出身の人物が登場するので、身近に感じます。人物や表現の書き方が好きな作品です。

えがしら
江頭 久美子さん（三日月町）



てんがい 天涯の花

宮尾登美子／著 集英社

小説が好きで、その中でも1日で読み終わってしまったほど引き込まれた本です。読み終わった後も主人公のその後に想像をかき立てられます。

にし 西 タミエさん（小城町）

日本のうた第2集 (昭和初~20年)

野ばら社

少年時代に習った、懐かしい歌が掲載されていて、当時の様子を思い出しては歌っています。基本的に毎日図書館に足を運んでいます。読書も図書館友だちに会うのも楽しみです。

えぐち 江口 章三郎さん（小城町）

司書 イチバン! 大人に おすすめな本

現実逃避したい時!
いやいや、何かに没頭したい時に!



『13日と13週と13日の満月の夜』
アレクサン・シラーノ著

金原瑞人／訳
求龍堂

日々忙しくしている
人に送りたい本。



『コーヒーの絵本』
庄野雄治／作

平澤まりこ／絵
ミルブックス

猫にもあるんです。
高齢化問題。



『うちの老猫の
言うことによまへ』
ふじののはるか／著
富士見書房

考え方を変えたい時に。



『人生の99%は
思い込み』
鈴木敏昭／著
ダイヤモンド社

わくわくドキドキハラ
ハラ夢中になつて本の
世界へ入れます。

程よい文章量でさうつ
とよめる。コーヒー好
きにおすすめ。

年老いた猫とのお付き
合いについて、猫飼い
さんなら読んでおきま
しょう、の本です。

思い込み過ぎると考え
が狭くなってしまいが
ち。そんなときに。

子どものころは読んだけ
ど、今更子どもの本なんて
…と思つていませんか?
私も大学時代は芥川賞受
賞作や安部公房の作品、ド
ストエフスキイなどをせつ
せと読んでいました。ところ
が、図書館に就職し、偶
然『星のカンタータ』(三木
卓／作 理論社)を手にし
たのがきっかけで、子ども
の本の面白さに目覚め、そ
れ以来、せつせと子どもの
本を読み始めました。後に

子どものころは読んだけ
ど、今更子どもの本なんて
…と思つていませんか?
私も大学時代は芥川賞受
賞作や安部公房の作品、ド
ストエフスキイなどをせつ
せと読んでいました。ところ
が、図書館に就職し、偶
然『星のカンタータ』(三木
卓／作 理論社)を手にし
たのがきっかけで、子ども
の本の面白さに目覚め、そ
れ以来、せつせと子どもの
本を読み始めました。後に

子どもの本は、人が生き
ていくうえで大切なことを
シンプルにストレートに伝
えていて、読んだ後、心が
洗われるような気がしま
す。また、生きる勇気も湧
いてきます。

ちょっと心が疲れたと
き、子どもの本を手にして
みませんか?

原書は1944年アメリカで出版された本で、人がつい起こしてしまいがちないじめや差別の問題を丁寧にわかりやすく描いていて、しみじみと心に響くものがあります。

子どものころは読んだけ
ど、今更子どもの本なんて
…と思つていませんか?
私も大学時代は芥川賞受
賞作や安部公房の作品、ド
ストエフスキイなどをせつ
せと読んでいました。ところ
が、図書館に就職し、偶
然『星のカンタータ』(三木
卓／作 理論社)を手にし
たのがきっかけで、子ども
の本の面白さに目覚め、そ
れ以来、せつせと子どもの
本を読み始めました。後に

子どもの本は、人が生き
ていくうえで大切なことを
シンプルにストレートに伝
えていて、読んだ後、心が
洗われるような気がしま
す。また、生きる勇気も湧
いてきます。

ちょっと心が疲れたと
き、子どもの本を手にして
みませんか?

私の1冊

『百まいのドレス』

エレナ・エスティス／作
石井桃子／訳 岩波書店



白根恵子さん
佐賀女子短期大学
キャリアデザイン
学科教授

ねこ はしる

工藤直子／著 童話屋

もともと工藤直子さんの作品が好きでした。講習会などで実際に会いし、その気さくな人柄に触れて、工藤さんの書かれる作品に更に惹かれるようになりました。

よしだ 吉田 一子さん（牛津町）

この秋こそ、お気に入りの一冊を見つけにぜひ図書館へ。

